



熊野第二小学校

「地域とともに……」

～郷土愛日本一を目指して～



▲運動会での全校児童による「銭太鼓」

教育目標「ふるさとを愛し、自己を磨き、共に学ぶ子どもを育てる」を実現するため、全教職員が課題を共有し、徹底・継続・評価を合い言葉に取り組みを進めています。

この度は「ふるさとを愛し」について紹介します。

■**地域と関わる体験的な学習**

地域を題材にした学習を設定することで、ふるさとを愛する心を醸成します。そのために、総合的な学習を中心に体験的な学習をさせています。

1・2年生は地域の田を借りてどろんこ遊び・田植え・稲刈りを体験。3年生は地域のお店・仕事をテーマに、特産である黒豆を栽培したり、地域のスーパに出かけたりして人々の暮らしについて学んでいます。4

年生では、筆産業を調べたり、筆組合のご協力による筆づくり体験をしたりしています。5年生では熊野町の自然環境について、6年生では歴史について学んでいます。

今までも継続してきたことですが、今年は更にバージョンアップをして運動会での全校児童による「銭太鼓」に取り組み、地域の方々ゲストティーチャーとして指導にあたっていました。

■**教職員にも地域愛を**

これらの子どもたちの活動を支えていく教職員は、常日頃から研修をふかめていかなければなりません。とりわけ、郷土愛を育むためには、熊野町のことを詳しく知り、教職員自身が熊野町を愛するようにならなければなりません。

そこで、我が小学校では、「地域の宝研修会」と題し、町教育委員会の協力を得て研修会を実施しています。これまで、神社、伝説が残る遺跡、校歌にある初神山、竜王山、縄文時代の遺跡

などを訪問しました。時には、地域の方から、猪の肉をいただき食したこともありました。

これらの研修により、多町より赴任してきた教職員にも熊野町に対する愛が芽生えてきているように思います。

■**熊野を愛せる子どもに**

本校の教育目標は、地域の方々のご協力なしでは、実現し得ないものです。地域の方々のご支援のもと、子どもたちが地域を愛するようになり、「熊野に生まれて、よかった、熊野で育つてよかった、この熊野第二小学校で学んでよかった」と思える子どもを育てていきたいと考えています。

※12月1日(土)に学習発表会を行います。ぜひお越しください。



▲教職員で榊山神社を訪問

あとがき

すっかり秋も深まり、紅葉を楽しむ季節となりました。町内を走っていると石碑を見つけたたびに「あっ」と、車を止めてしまします。「いしぶみ」シリーズでは、地域の方々に大変お世話になります。熊野町の歴史を学び郷土愛を深める中で、子供達にも継承していかねければならないと考えております。「記事を読んで石碑を見に行ったよ。」と声をかけていただくこともあり、大変励みになっております。

議会、だよりに親しんでいただくきっかけになればと思います、これからも試行錯誤を重ねながら紙面づくりに取り組んでまいります。皆様からの情報を心よりお待ちしております。

沖田 ゆかり

次の定例会は

12月12日(水曜日)
開会を予定しています

議会だより題字

世木田江山さん

表紙写真

熊野町総合防災訓練
(熊野第四小学校児童)